

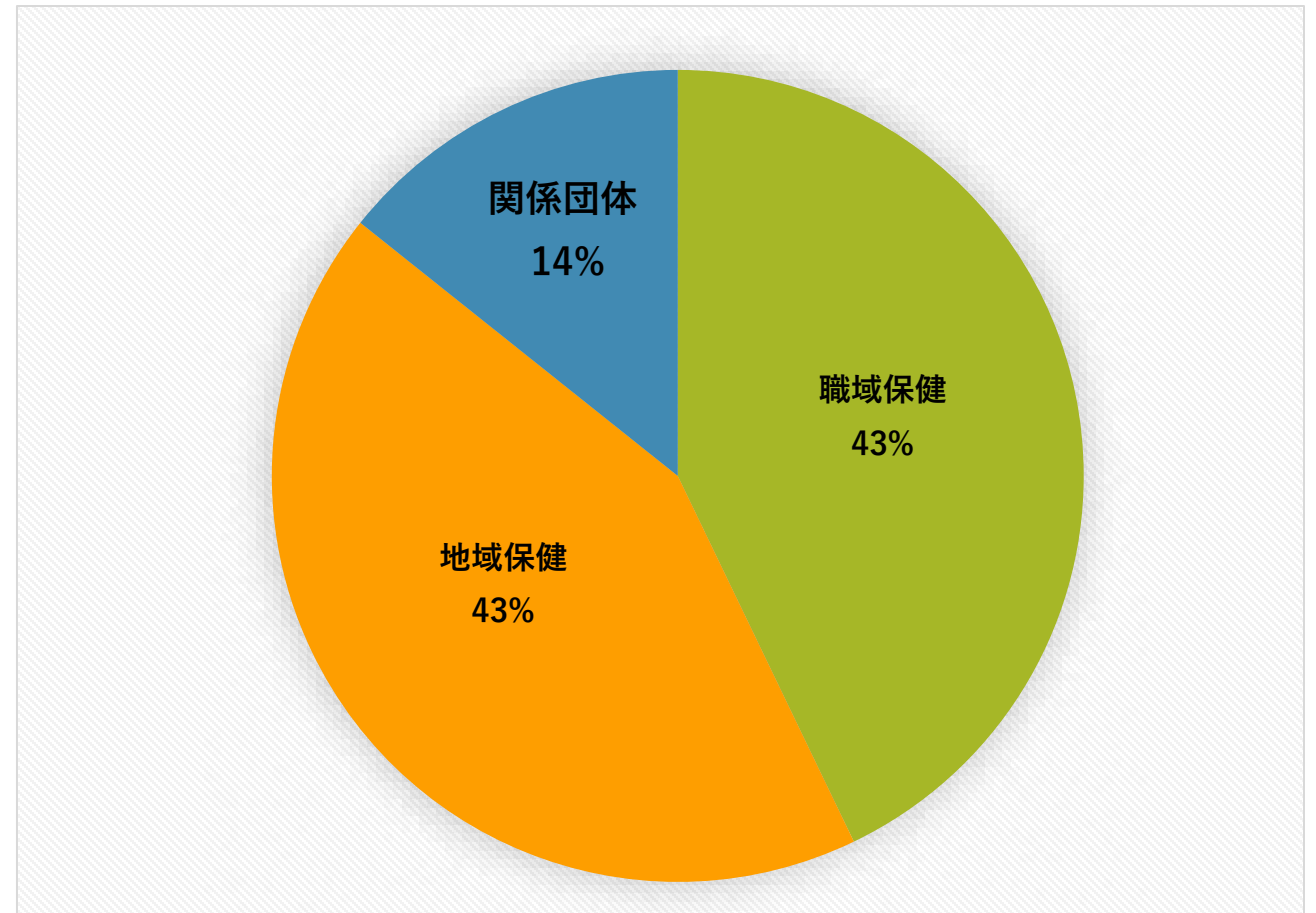
令和7年度 第2回宗谷地域・職域連携推進連絡会 事前アンケート集計結果

構成団体：31 回答数：21（回答率：68%）

令和7年度（2025年度）第2回宗谷地域・職域連携推進連絡会
情報提供

回答状況（構成団体 3 1）

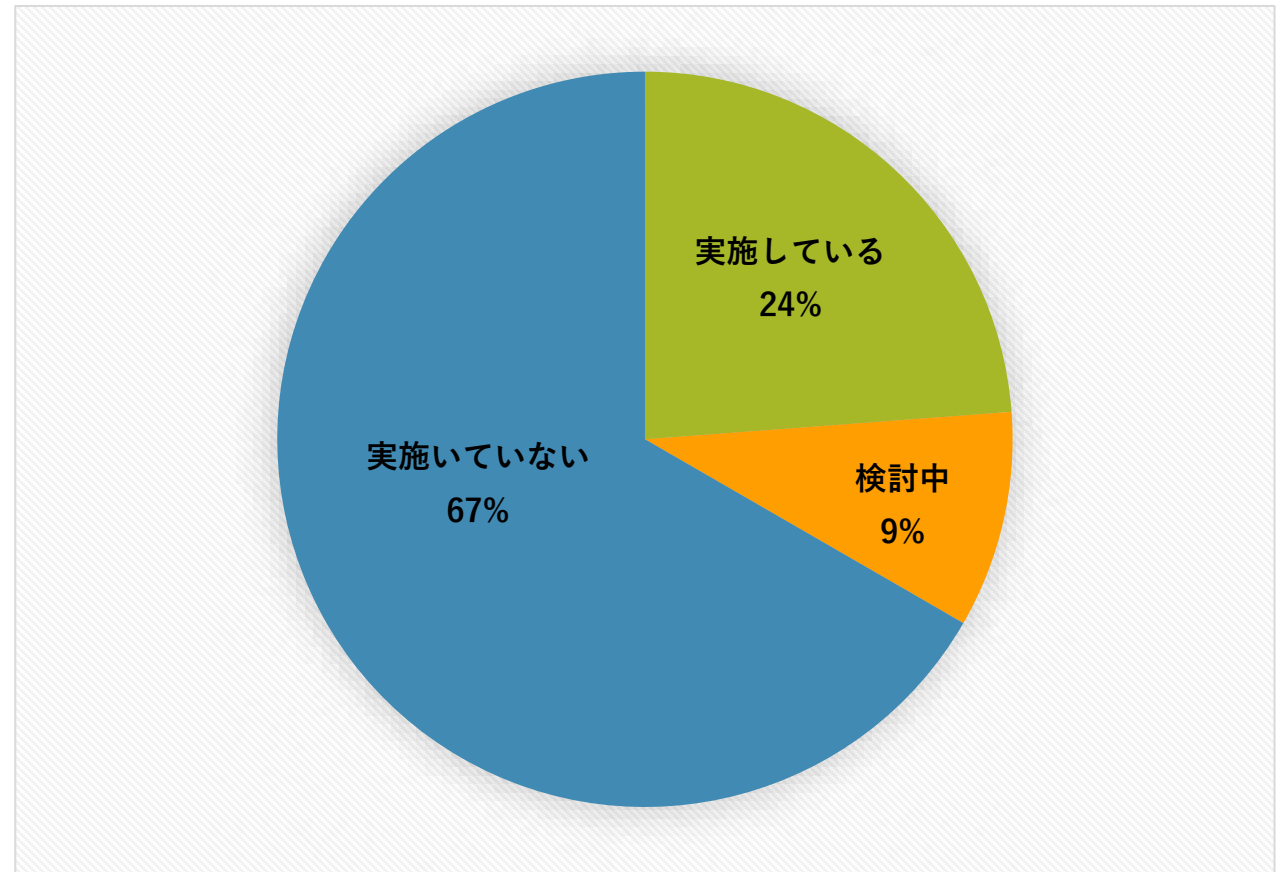
職域保健	9
地域保健	9
関係団体	3
回答数	21
回答率	68%



慢性腎臓病（CKD）対策に関する現状について

(1) 貴市町村・関係団体等において慢性腎臓病 (CKD) に関する取組を実施していますか。

実施している	5
検討中	2
実施していない	14
合計	21



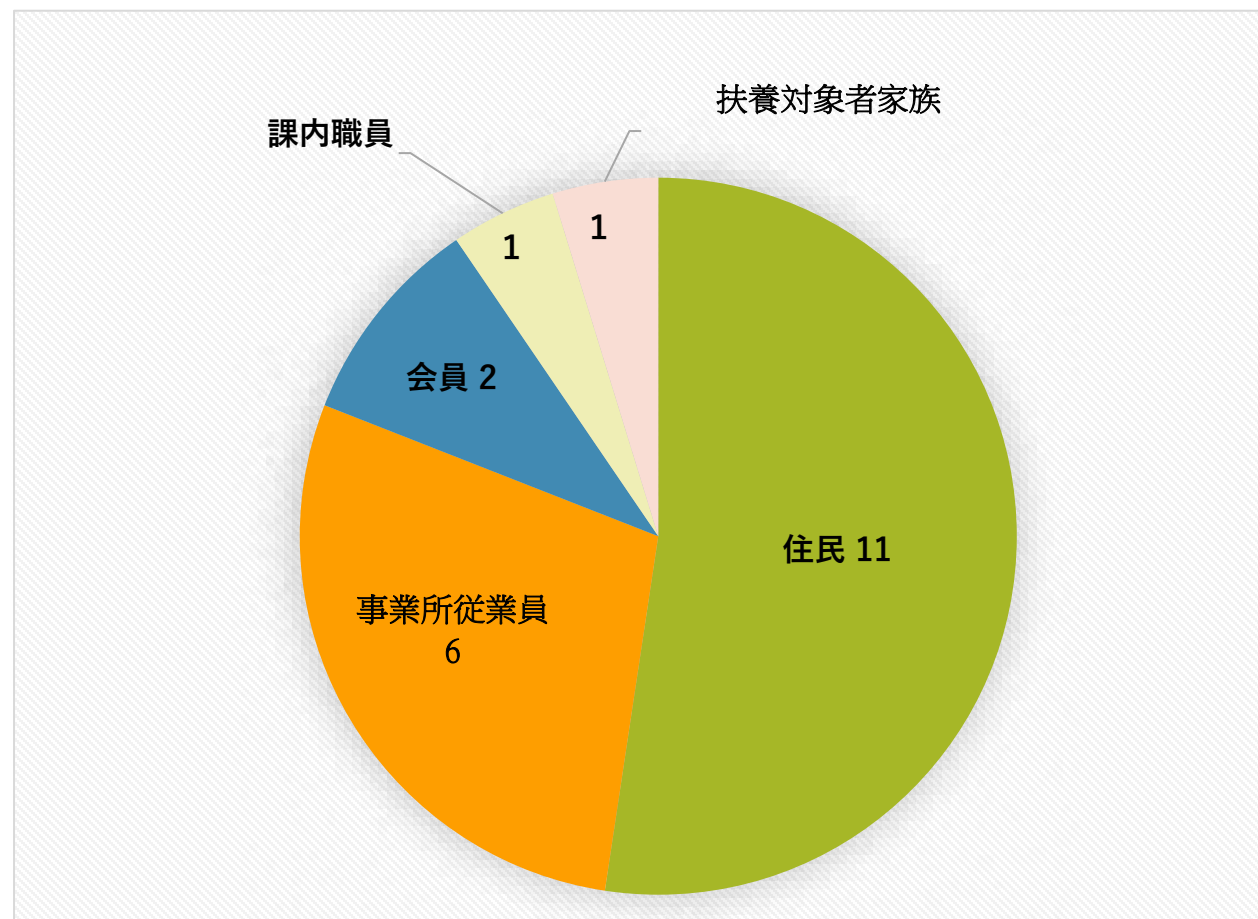
「実施している」場合、具体的に

- 特定健診受診者に対し、基準を設定して保健指導を行っている。
- 糖尿病性腎症重症化予防事業。
- CKDガイドの基準より、かかりつけ医及び腎臓専門医の受診が必要な方を受診に繋げるとともに、尿蛋白±の方やG3aの段階の方の保健指導を重点的にを行っている。
- 健診受診者でCKD該当者への保健指導を実施。
- CKDの基準該当者に訪問・生活指導と受診勧奨を行っている。

(2) CKDや生活習慣病に関する情報提供・啓発等を行う際、対象はどの層ですか。

(複数回答可)

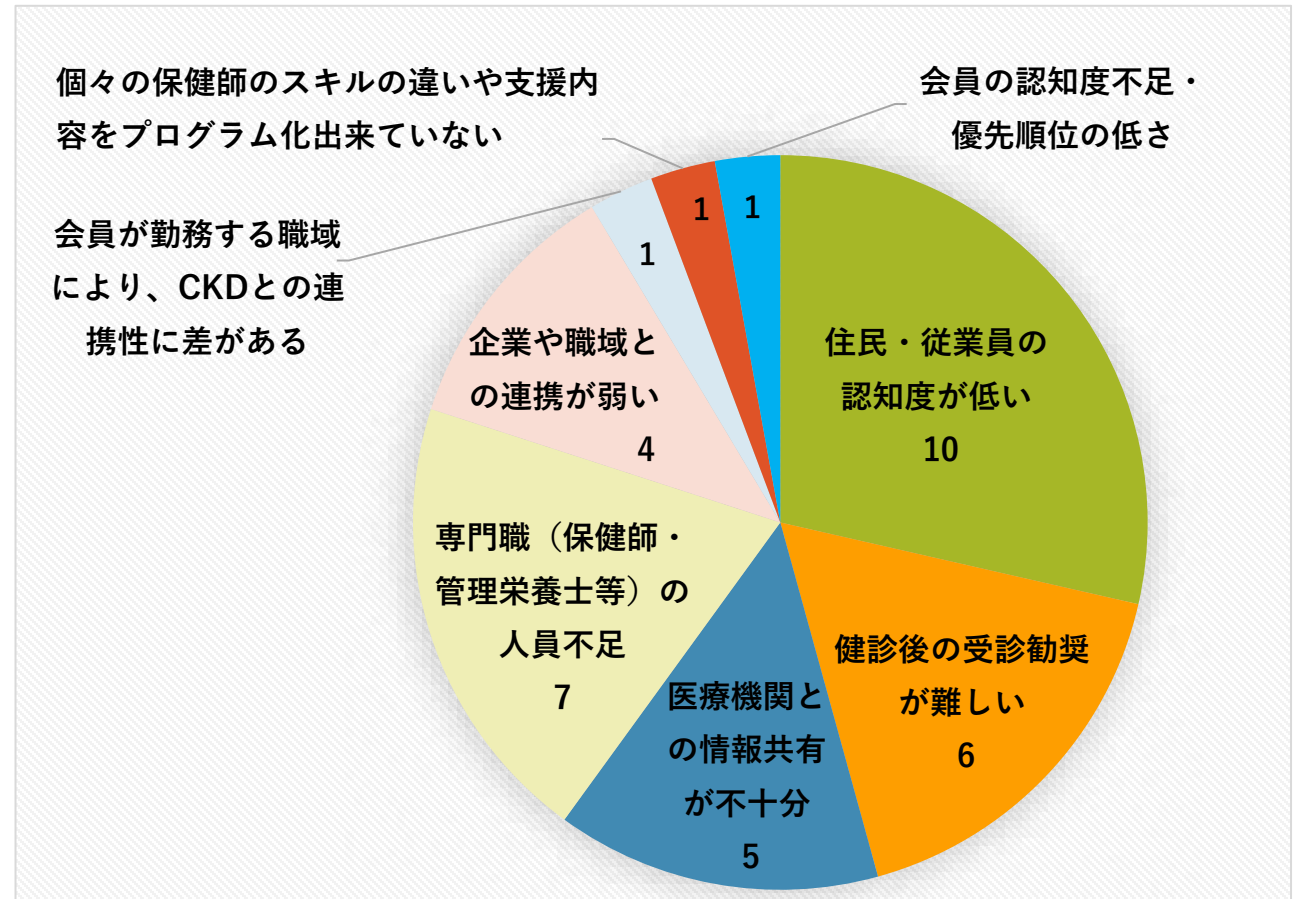
住民	11
事業所従業員	6
医療関係者	0
行政職員	0
会員	2
課内職員	1
扶養対象者家族	1



(3) CKDに関する啓発・支援等で課題と感じていることは何かありますか。

(複数回答可)

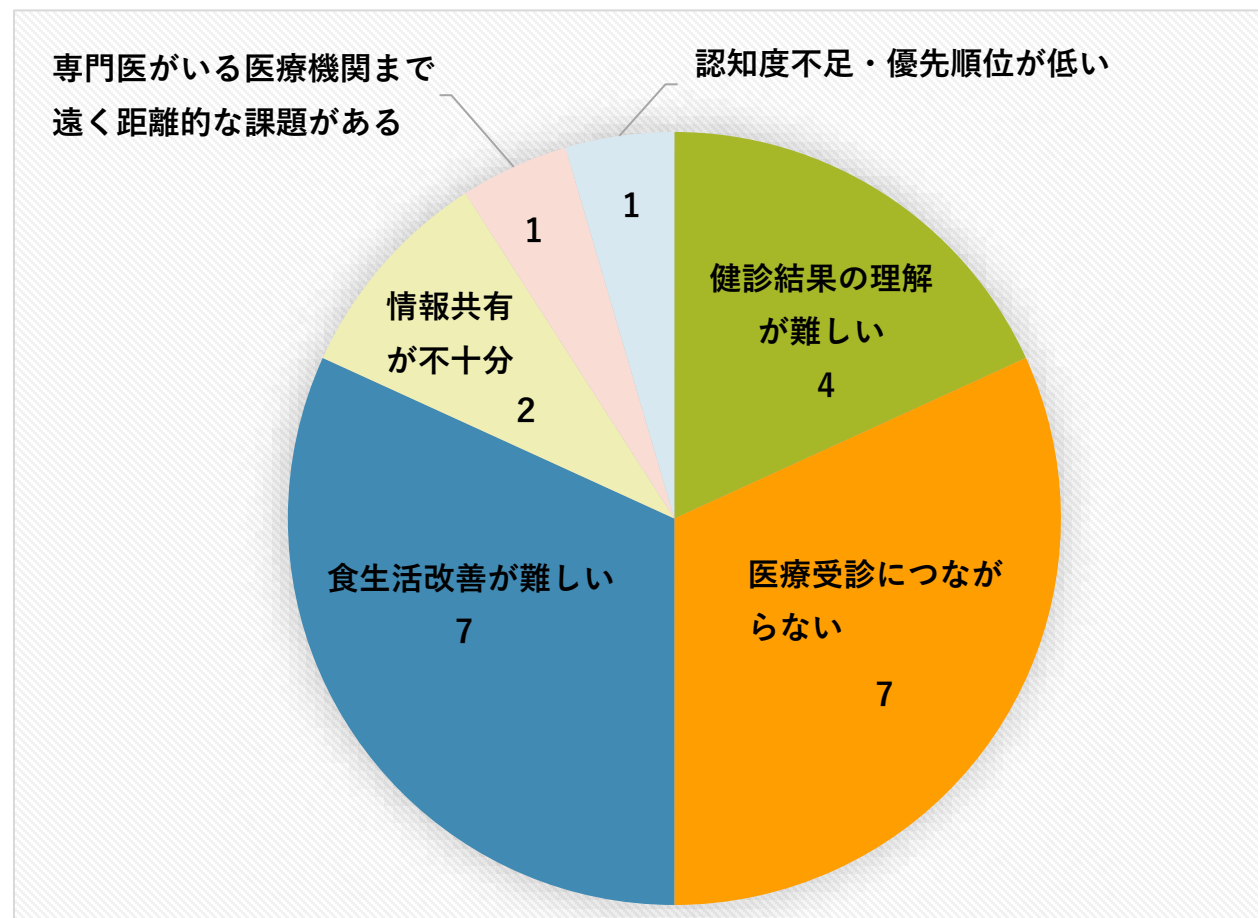
住民・従業員の認知度が低い	10
健診後の受診勧奨が難しい	6
医療機関との情報共有が不十分	5
専門職（保健師・管理栄養士等）の人員不足	7
企業や職域との連携が弱い	4
会員が勤務する職域により、CKDとの連携性に差がある	1
個々の保健師のスキルの違いや支援内容をプログラム化出来ていない	1
会員の認知度不足・優先順位の低さ	1



(4) 現場で感じる課題は何かありますか。

(複数回答可)

健診結果の理解が難しい	4
医療受診につながらない	7
食生活改善が難しい	7
情報共有が不十分	2
専門医がいる医療機関まで遠く距離的な課題がある	1
認知度不足・優先順位が低い	1

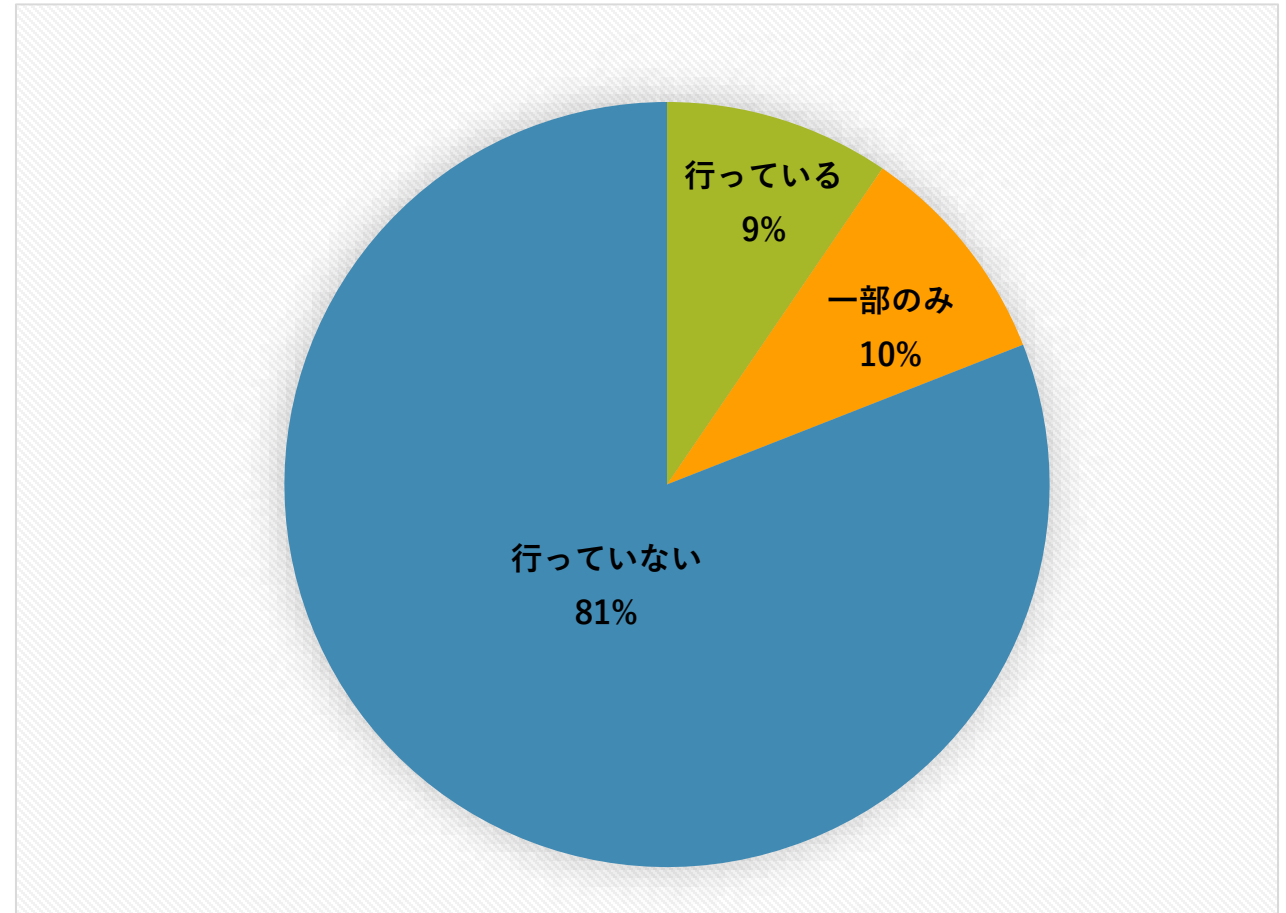


地域・職域連携の現状について

(1) CKDに関して、他機関との連携を行っていますか。

行っている	2
一部のみ	2
行っていない	17

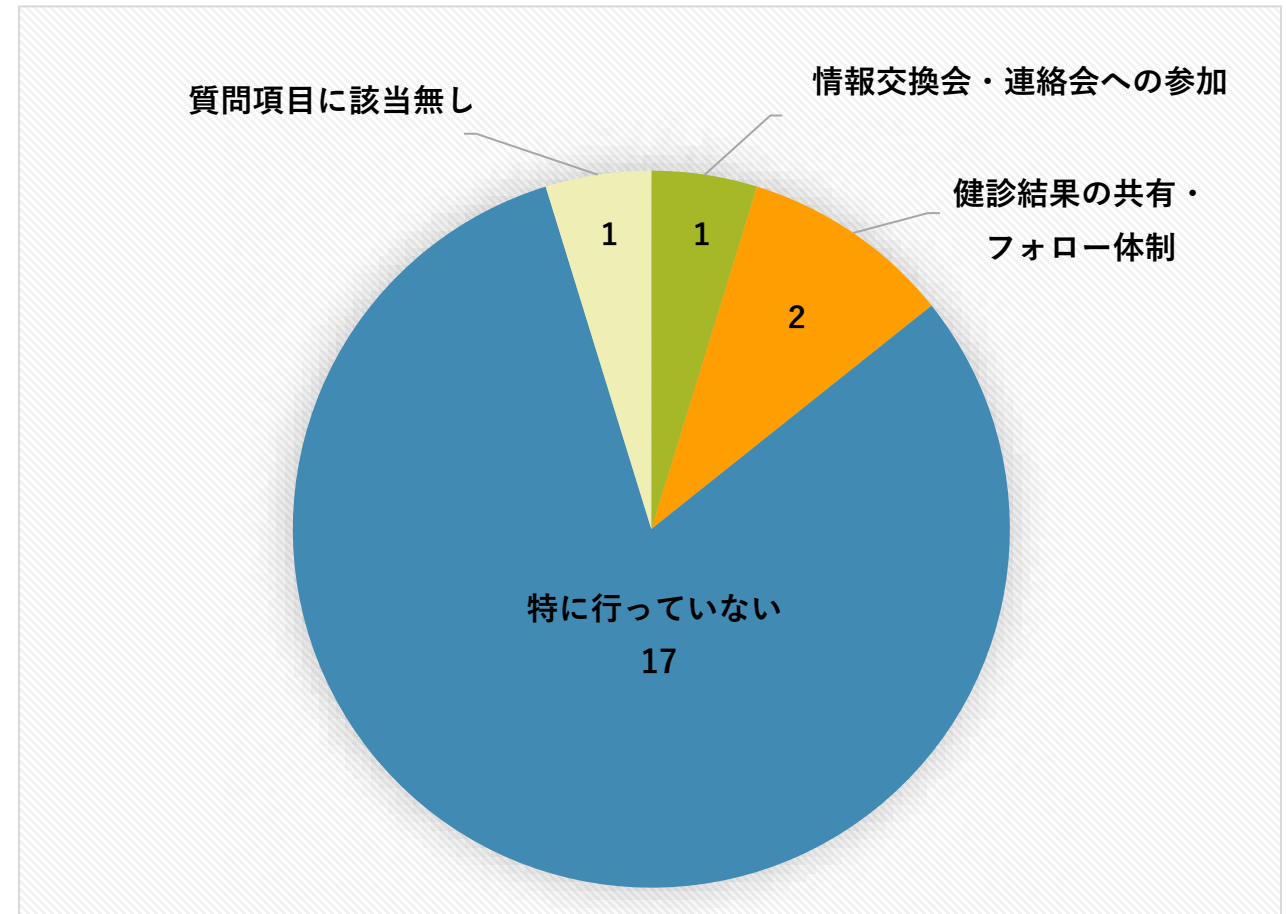
主な連携先：**医療機関のみ**



(2) どの様に連携していますか。

(複数回答可)

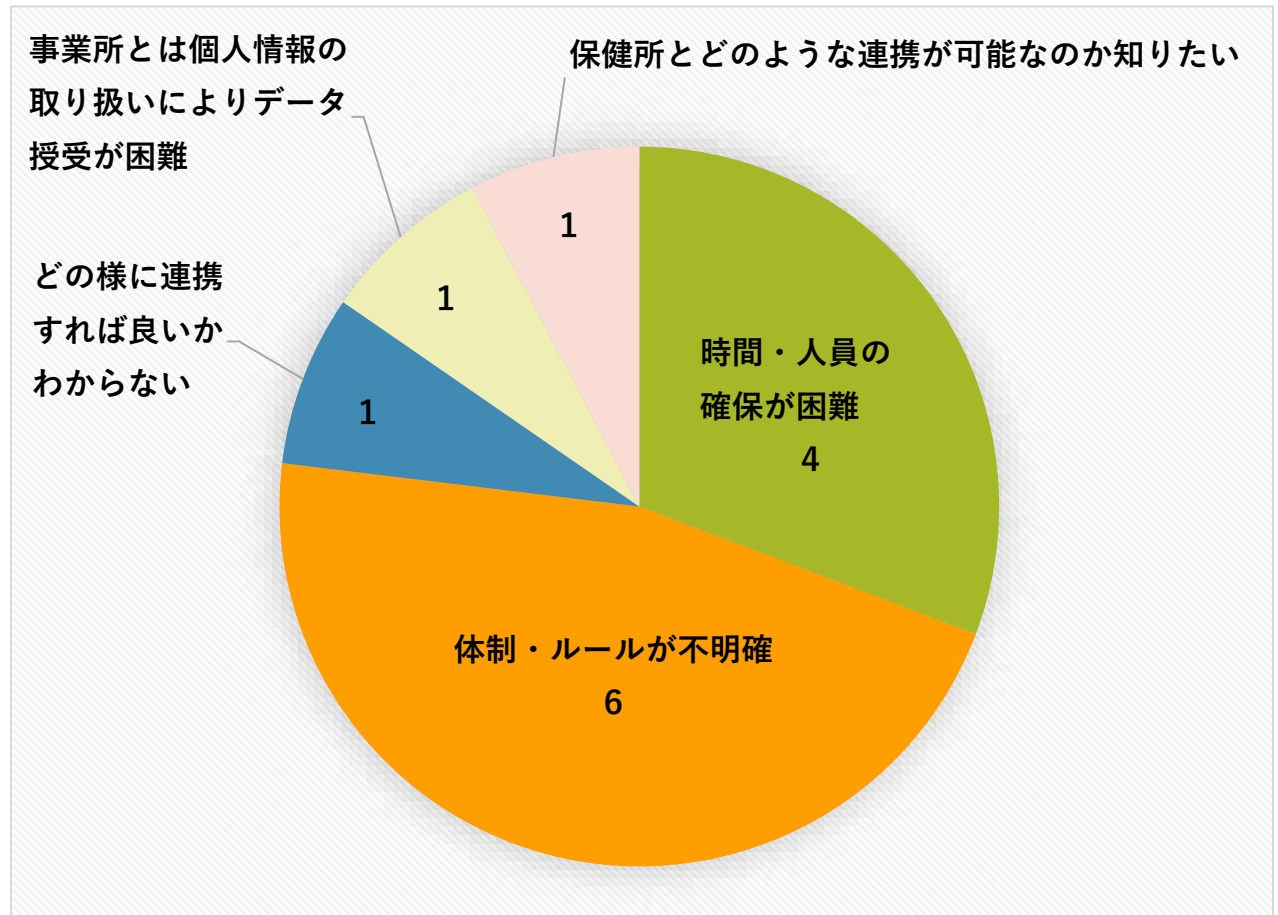
情報交換会・連絡会への参加	1
研修会・講習会等の共催	0
健診結果の共有・フォロー体制	2
啓発活動の協働（チラシ・講話など）	0
特に行っていない	17
質問項目に該当無し	1



(3) 連携を進める上で何か課題はありますか。

(複数回答可)

担当者間の情報共有が難しい	0
取組の目的や対象者が統一されていない	0
時間・人員の確保が困難	4
体制・ルールが不明確	6
どの様に連携すれば良いかわからない	1
事業所とは個人情報の取り扱いによりデータ授受が困難	1
保健所とどのような連携が可能なのか知りたい	1

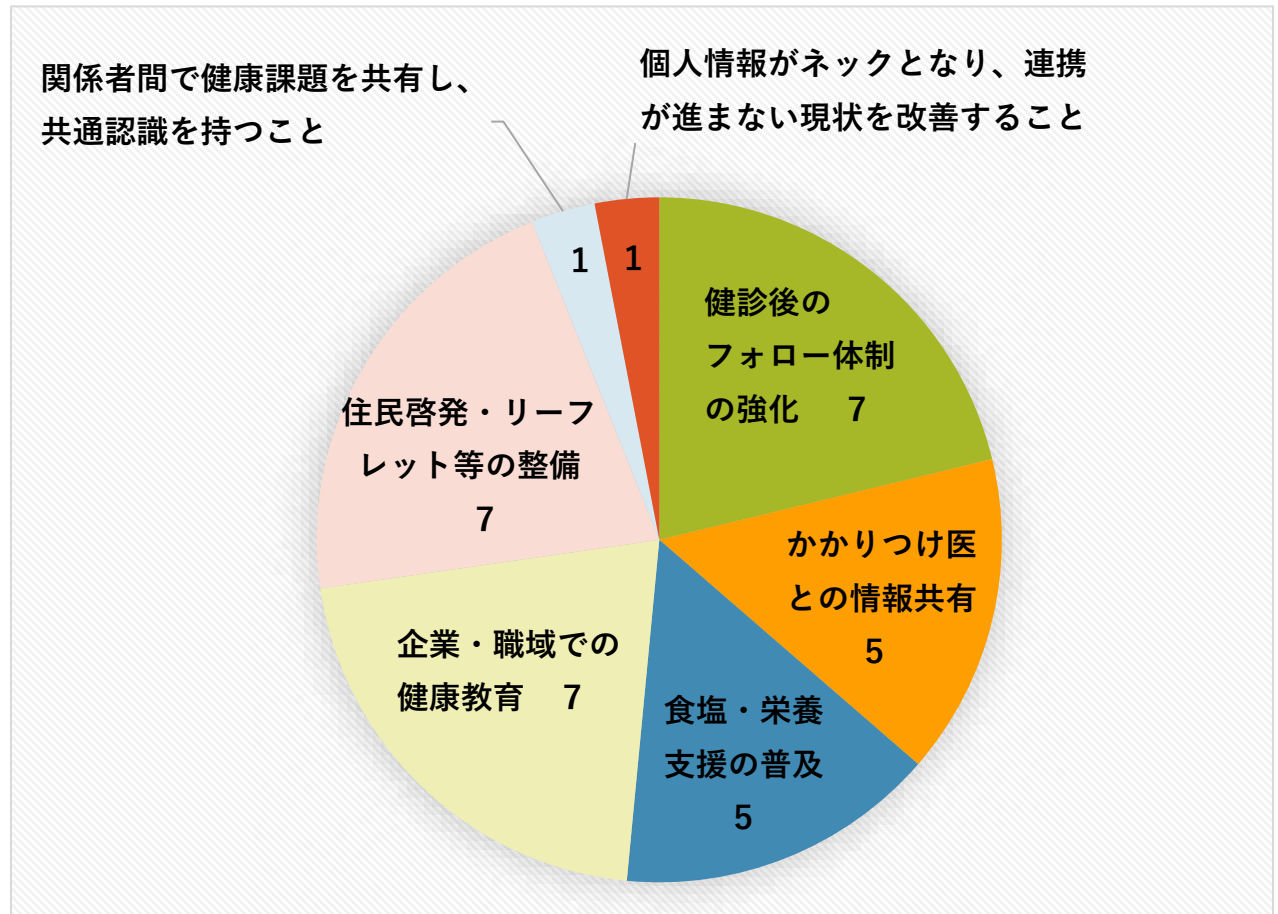


今後の取組・支援ニーズについて

(1) 地域・職域で重点的に取り組むべきと考える分野は何かありますか。

(複数回答可)

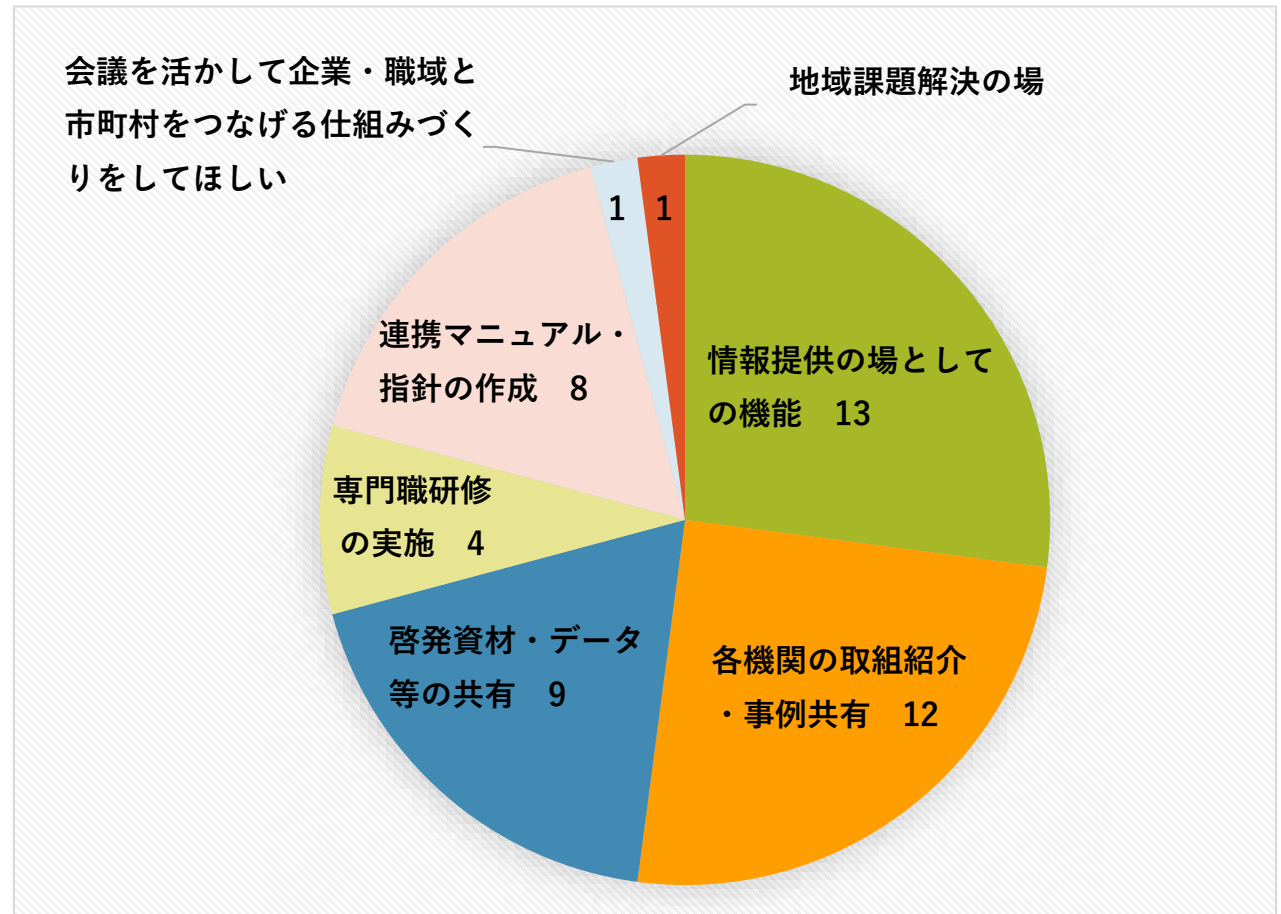
健診後のフォロー体制の強化	7
かかりつけ医との情報共有	5
食塩・栄養支援の普及	5
企業・職域での健康教育	7
住民啓発・リーフレット等の整備	7
関係者間で健康課題を共有し、共通認識を持つこと	1
個人情報がネックとなり、連携が進まない現状を改善すること	1



(2) 連携推進連絡会に期待することは何か ありますか。

(複数回答可)

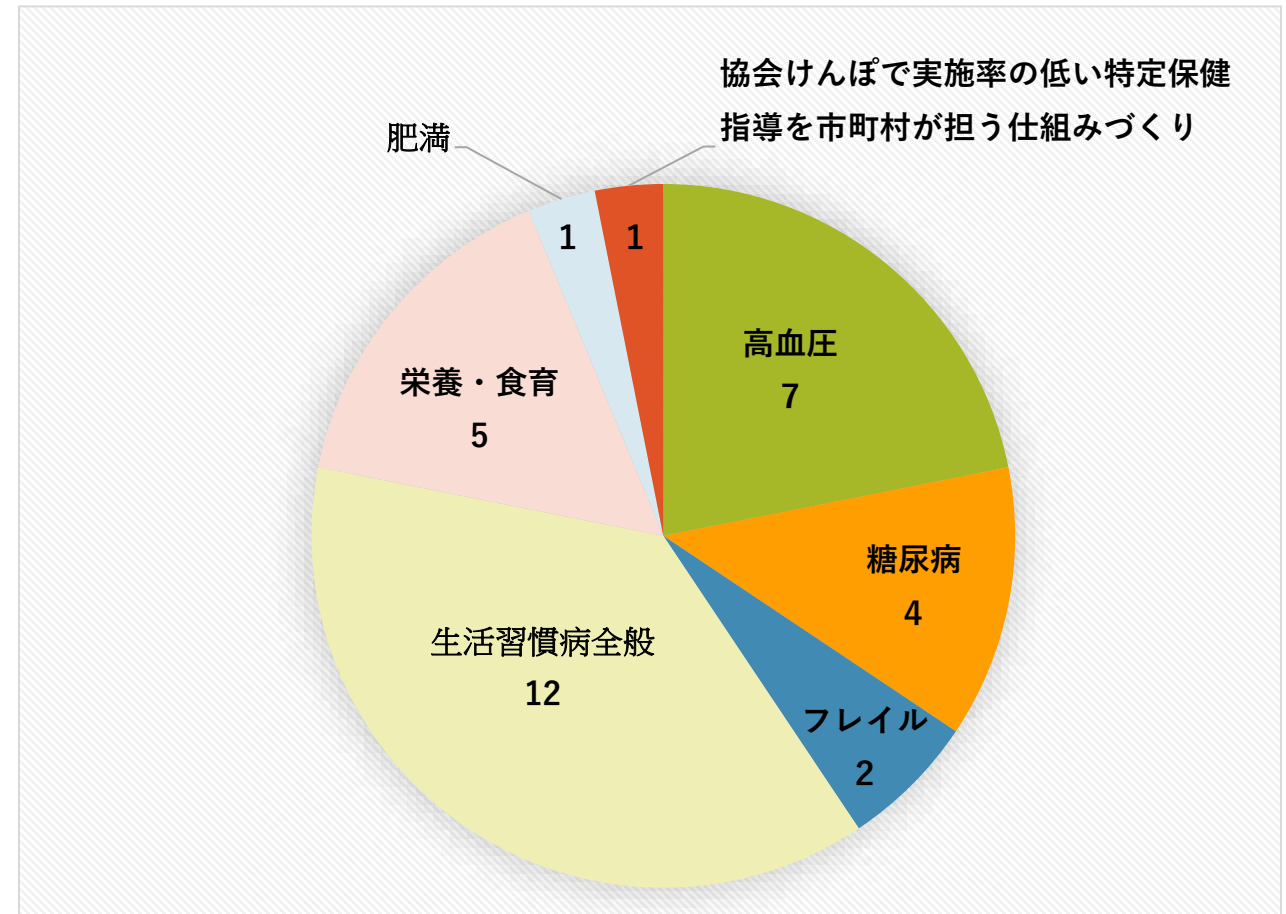
情報提供の場としての機能	13
各機関の取組紹介・事例共有	12
啓発資材・データ等の共有	9
専門職研修の実施	4
連携マニュアル・指針の作成	8
会議を活かして企業・職域と市町村をつなげる仕組みづくりをしてほしい	1
地域課題解決の場	1



(3) 関連づけて取組みたいテーマはありますか。

(複数回答可)

高血圧	7
糖尿病	4
フレイル	2
生活習慣病全般	12
栄養・食育	5
肥満	1
協会けんぽで実施率の低い特定保健指導を市町村が担う仕組みづくり	1



要望・御意見などについて

- 令和6年度の連絡会において、検討事項にあがった件の進捗状況や結果についてのフィードバックを要望する。
- 本連絡会が情報交換だけでなく、開催要領の事業内容にある通り地域課題の解決につながるための会となることを要望する。
- 自治体単位で取組むことが難しい、広域的な地域課題の解決に向けた取組の推進を保健所や本連絡会に期待する。
- 国保の保険者として、健康課題の解決、医療機関との連携が不十分な中で、他の職域と連携することで業務の拡大に伴うマンパワー不足に不安がある。一方で被用者保険から国保に入る流れがあるため、予防としては被保険者から介入することが重要と考えられるが、他市町村の好事例などあれば知りたい。